

問 学校からタブレット持ち帰りを

答 11月頃から学校の判断で



議員 貴大 江崎 無会派

問 物価上昇に伴う給食への影響は。

答〔学校教育課長〕 食材購入価格に現れている。

問 給食費を過去値上げしたことがあるか。そのタイミングは。

答 平成21年度小学校230円から250円。中学校270円から290円。

平成26年度小学校250円から260円。中学校290円から300円に値上げ。

問 中学校給食の無償化にかかる費用は。

答 約5732万円。

問 中学校給食の無償化の検討は。

答 食材費については保護者をお願いしたい。

問 学校へのタブレット導入の効果は。

答 小学校、中学校とも効率的な授業に役立っている。

問 適応指導教室における一人一台タブレットの導入は。

答 今年10台程度新たに整備。

問 学級閉鎖や不登校児に対するタブレットの活用は。

答 適応指導教室において活用可能。

問 タブレットの持ち帰りの検討は。

答 11月頃から学校の判断により持ち帰りを予定。



問	カーボンニュートラルに向けて
答	計画を着実に推進していく

問 次期基本計画の方向性は。

答 ごみ処理の課題に対し整合性をとる。

問 資源物回収を推進する考えは。

答 回収を促進する方策を模索。

問 地球温暖化対策実行計画において課題分析は。

答 再生可能エネルギー導入に順次取り組む。

問 公共施設でZEB化など脱炭素化事業の可能性は。

答 照明のLED化、施設の統廃合で可能。

問 導入を検討しているか。

答 新築公共建築物でZEB化を推進。

問 太陽光発電の導入はどの程度か。

答 市役所本庁舎を始め4施設。

問 再生可能エネルギーの推進は。

答 導入予定はない。

問 ゼロカーボンシティ宣言はしないのか。

答 まずは計画の着実な実行。

※ZEB 省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、建物のエネルギー収支をゼロにすること。



▲日の出小学校に導入された太陽光発電

問 環境課題に対する市長の想いは。

答〔市長〕 温室効果ガス抑制のため計画を着実に推進。

問 目標値に対する実際の収集量は。

答〔市民生活部長〕 可燃ごみは、ほぼ目標値で推移。不燃ごみは、令和2年度126%、その他の年度107%。資源ごみは年々減少、令和3年度は53%。